

平成30年度 鳥取県協同学習研究協議会

# アドバイザー派遣事業レポート

## 【研究主題】

確かな学力の定着を目指して、主体的に関わり合い、学び合う生徒の育成

【副 題】 「みんなの力で、みんなが分かるようになる」授業の工夫

## 【めざす授業の姿】

仲間の意見に耳を傾け、仲間の意見に+ $\alpha$ ！ 自分の意見に+ $\alpha$ ！

つなげよう、深めよう、みんなの思考！

## 【日 程】

- 日 時 平成30年11月29日（木）
- 公開授業 【2限】 9：50～10：40  
○全クラス授業公開
- 【3限】 10：50～11：40  
○3年B組 英語 （3階多目的）  
（※終学活、給食、休憩、掃除）
- 【4限】 13：40～14：30  
○1年B組 数学 （1B教室）
- 研究協議 （2階 図書館） 14：45～16：50

1. 開会・講師紹介（校長先生） 14：45～
2. 授業者自評・グループ協議 14：50～15：20
3. 全体会（グループ別協議の発表） 15：20～15：35
4. 来年度の共通実践項目と生徒につけたい力の検討 15：35～16：05
5. 指導講評 【中京大学 杉江修治 教授】 16：05～16：45
6. 謝辞（校長先生）・閉会・まとめと振り返り 16：45～16：50
7. 諸連絡

1 本日の授業研究会のねらい .....

(1) 「関わり合い、学び合う」学習について全職員で考える。

(2) 「めざす授業の姿」に向かって共通実践することを検討する。

2 公開授業

(1) 参観の視点

① [共通実践1] 『『単元・本時のマップ作り』を工夫しよう』の各項目が実践できているか？

② [共通実践2] 「更なる積み上げ」の各項目が実践できているか？

(2) 付箋の記入

・上記①②について、良い点はピンク、改善点は青の付箋に記入する。

・付箋記入の分担



視点を明記

3限(英語)	
4限(数学)	

3 グループ協議

(1) 参観の視点①②についてグループで話し合う。

・拡大指導案に付箋を貼りながら協議

・参観の視点①に関する部分から話し合う

(※導入から順番に見ていかない。話の流れで自然に導入や終末にも話が及ぶはず。)

○グループ分け

英語①	
英語②	
数学①	
数学②	

※授業者は自由に動いて参加

※他校の先生には希望のグループに入ってください

○グループの役割分担

①司会 ②発表 ③WB ④タイムキーパー

#### 4 全体会

- ・グループ別協議の発表

#### 5 めざす授業の姿に対する共通実践することの検討

- ①研究協議や指導講評をうけて、共通実践の取り組みについて振り返り、「めざす授業の姿に近づくために実践（改善）すること」を個人で考えワークシートに書く。
- ②グループで意見の交流をする。
- ③全体発表
- ④「共通実践すること」を検討する。

#### 6 ふりかえり

○「振り返りシート」・「授業づくりのポイント17」を記入する。

## 【全員で実践！第7弾！】

### 1. 「単元・本時のマップ作り」を工夫しよう

- ・ **ゴールの見える学習課題の設定**  
→各単元の学習課題の設定、生徒自身が評価できる、個人の課題とクラスの課題
- ・ **生徒が主体的に動けるマップ作り**  
→単元の第1時を工夫、授業の流れ（手順）の明示、各ステップのつながり、学ぶ値打ち  
→50分間フル活脳
- ・ **振り返りの工夫**  
→振り返る内容を指示、自分のための自己評価



### 2. 「更なる積み上げ」

- ① **学習規律の徹底** <<もう一度徹底!!>>  
◆声の大きさ ◆話す・聞くスキル ◆体の向き  
◆返事「はい」◆挨拶・分離礼 ◆規律の意義を話す
- ② **1時間に1回は関わり合う場面を**
- ③ **課題意識を持って伝え、聞ける工夫を**

### 3. 「学び合いの質の向上」

- ・ **それぞれの役割のスキルを身につける**  
→各役割のマニュアル化
- ・ **関わり方の指導をする**  
→協同の理念をいかに実現するか